

## 平成28年度 三木市社会福祉協議会事業計画・予算

3月に開催した、理事会・評議員会において『平成28年度事業計画』、『平成28年度収支予算』が承認されました。平成28年度は、3つの事業方針のもと住民組織、関係機関、ボランティア団体と連携して、地域福祉の推進を実践していきます。

### 【平成28年度事業方針】

- 地域の課題を住民が協働しながら地域で解決していく力、仕組みづくりを市民の協議体である本会の組織力を活かし推進します。
- 利用者ニーズを的確に把握し、より利用者本位で地域に密着した施設サービスの展開と、身近な地域拠点としての施設運営に取り組みます。
- 平成28年度は「地域福祉活動計画」の最終年度となることから、同計画についての検証を行いながら、次期中期計画の策定に取り組みます。

## 平成28年度強化する取り組み

### 1 「共助の層」を厚くする取り組み

住民同士、顔が見える自治会等を基盤に、「見守り」を単なる「訪問による見守り」として行うのではなく、つながりや関わりの中で気づいた問題や受けた相談を専門機関等につなげ、必要な支援を「住民主体で生み出していく」という幅広い概念としてとらえることの必要性をアプローチしながら、住民が主体的に活動参加できる仕組みづくりを推進していきます。

- ふれあいサロン活動の開設支援
- 見守りネットワーク活動の推進
- 高齢者ファミリーサポートセンター事業展開(市委託) **新規**
- 「地域活動車」の貸し出し
  - ワゴン車(7人乗り、10人乗り) ■トラック
  - マイクロバス ■車いす対応車

### 2 地域で安心して暮らせる身近な支援体制

生活の主体者である本人がどのように生活したいのか、その想いに寄り添い、そのための課題解決を支援していける総合相談窓口の強化を図るとともに、日常生活を営む上で何らかの介護や支援を必要とする要介護者の実態把握を進め、個別支援や地域支援を強化します。

- 日常生活・在宅介護に関する総合的な支援
- 防災と地域福祉の連携

### 3 効果的・効率的な施設の運営及び介護保険事業等の実施

指定管理施設であるデイサービスセンター、在宅介護支援センター、はばたきの丘の運営にあつては、市民・利用者のニーズを的確に把握し、より利用者本位で地域に密着したサービスを展開します。また、介護保険事業等の制度改正に伴う円滑な対応をはじめとして、効果的効率的な事業実施を進め安定した経営を図ります。

さらに本会が目指す地域福祉活動を推進するために、身近な地域の拠点としての役割が果たせる施設運営に取り組みます。

- 通所介護事業(デイサービス)の展開
- 居宅介護支援事業
- 障害者総合支援法に基づくサービス事業

### 4 3つの計画の策定

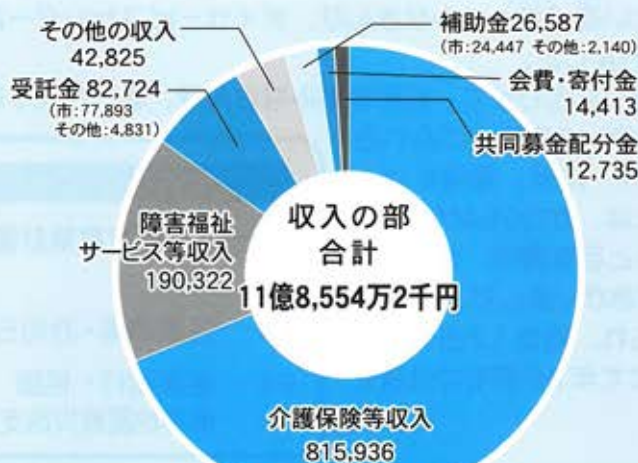
第2次地域福祉活動計画(見直し計画)では、次期計画の策定に向けた事業の独自性を整理した計画の編成を行うとしています。ついては、次の3つの計画策定を行い、計画的な推進を図ります。

- 第3次地域福祉活動計画
- 地域生活支援事業計画 **新規**
- 社協基盤計画 **新規**

事業計画、予算の詳細い内容が書かれた平成28年度事業計画書及び予算書はホームページよりダウンロードできます。

三木市社協 検索

## 平成28年度収支予算



(単位:千円)